

福岡県ジェンダー平等フォーラム2025

STAND Still 福岡

性暴力サバイバービジュアルボイス
写真展 & トークイベント

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階小セミナールーム

2025.10.11.(土)

写真展

14:15～15:15 無料

※トーク参加の方は17:30まで
ご覧いただけます

トーク イベント

15:30～17:00

定員40名

参加費 1,000円 要予約

参加申込は二次元コードから



お問い合わせ standstillfukuoka@gmail.com

主催 STAND Still 福岡 共催 福岡県男女共同参画センター「あすばる」
協力 STAND Still 横浜、STAND Still 山口



STAND Still福岡について
2019年フォトジャーナリスト大藪順子が横浜で始めたプロジェクト「STAND Stillー性暴力サバイバービジュアルボイス」に参加したメンバーが団体STAND Stillを設立。当事者の目に映る社会をビジュアル化するこのプロジェクトに全国各地からオンライン参加者が増え活動が広がり、福岡のサバイバーのために「STAND Still福岡」も設立された。性暴力サバイバーにとって安全とは言い難いこの社会で、自由に表現できる場を提供し、写真表現でエンパワメントを促すワークショップや展覧会を企画・運営する。

ファシリテーター 大藪順子(おおやぶのぶこ)
フォトジャーナリスト。米国シカゴのコロンビア大学フォトジャーナリズム科卒業後、米国の新聞社で専属写真家として勤務する。写真プロジェクト「STAND:性暴力サバイバー達」がアメリカでテレビドキュメンタリーとなった後、全米と日本各地で展示会と講演会を展開する。著書『STAND 立ち上がる選択』2007年フォレストブックス、共著『マスコミ セクハラ白書』2020年文藝春秋、監修『横浜(Koko)-「外国につながる」ではひとくくりにはできない中高生の作品集』2021年明石書店出版。



ワークショップの様子



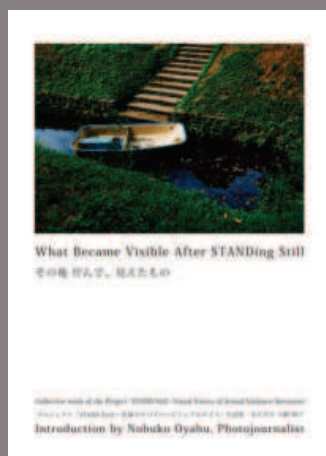
ギャラリートークの様子

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
交通アクセス

◆JR西小倉駅より徒歩約15分

◆西鉄バス 小倉駅バスセンター
27・36・45・110・138
小倉駅入口 150・170・197
→「ソレイユホール・ムーブ前」下車

◆北九州市都市高速
勝山ランプ/大手町ランプ出口より約3分



「性暴力サバイバー」という肩書きの向こうにいる人の存在と、サバイバーの視点に立った世界が見えてくる。

STAND Still 写真集 (2019～2023年度作品収録)
『What Became Visible After STANDING Still
その後 佇んで、見えたもの』

購入申込はこちらから→

